

7月23日～8月6日、本校の生徒16名が米国サウスカロライナ州チャールストン市で研修を行います。滞在中は100年以上の歴史をもつ本校の姉妹校であるAshley Hall校と連携し、アメリカ、中国の生徒たちと、研究テーマである「女性グローバル・リーダーの研究」に取り組み、日米中3カ国の視点から女性グローバル・リーダーについて研究を進めます。

7月23日（月）チャールストンに到着しました

チャールストン空港から学生寮へ

7月23日、成田空港を出発し、チャールストン空港に到着しました。到着時には雨と雷というあいにくの天気でしたが、元気でバスに移動。研修期間を通して過ごす学生寮「インターナショナルハウス」に向かいました。

生徒たちは、この研修に“Don't be afraid to change yourself”という目標を設定して研修に臨んでいます。日本に帰ってから後悔することが無いようにと、初日から積極的に行動する姿が見られました。

明日からはいよいよAshley Hall校での調査・研究が始まります。



[チャールストン空港にて]



[Ashley Hall 校]

1909年にサウスカロライナ州に唯一の女子校として設立されました。



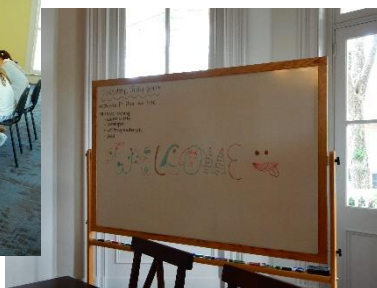
Ashley Hall 校での活動開始

いよいよAshley Hall校（以下AH校）での活動が始まりました。昨年と同様に中国から参加している生徒もいます。授業はAll Englishですが、それぞれのグループのGA（Global Ambassador・AH校生徒）が司会、進行役を務めミーティングを進めます。



[教室で]

Welcomeの文字も可愛らしく、嬉しい気持ちになります。



[コーディネーターの先生とミーティング]

ボーイング社工場見学！



アメリカ研修便り



〔BOEING 社へ〕
最新の航空機を組み立てるこの工場には多くの女性社員が働いています。

〔ボーイング 787〕



BOEING SOUTH CAROLINA

〔訪問した BOEING 社 サウスカロライナ工場の全景〕
(<https://www.boeing.com/company/about-bca/south-carolina-production-facility.page>) より)



〔訪問前の準備学習〕

貴重なこの機会をより有意義なものにするために、しっかりと事前学習を行いました。みんな真剣な表情です。

■ アメリカ型のリーダー像を学ぶ

BOEING 社はアメリカにある世界最大の航空宇宙機器開発製造会社です。チャールストン市には航空機のボーイング 787 を組み立てる工場があり、265 エーカーの広大な敷地にたくさんの建物が立っています。私たちが訪れたのはその中でも 787 機を 5 機同時に組み立てることができる最大の工場です。通常の見学者は最上階から下を覗くだけですが私たちのグループは 1 階まで降りて巨大な機体を見上げながらそれぞれの胴体が一つに組み立てられていく様子を間近に見学することができました。セキュリティは大変厳しく建物の内部は残念ながらすべての場所で写真撮影はできません。入場する場合も身分証明書が必要です。

BOEING 社ではアメリカ人女性社員の方の話を聞き、女性のキャリアやリーダー像について質問することができました。リーダーとして大切なことは誠実さや自分を知ること、コミュニケーション能力、信頼関係を築くことなどいくつかのポイントを教えていただきました。働く国は違いますが、今まで日本での LABO 活動で伺ったことと共通する点が多く、とても興味深い内容でした。

また BOEING 社に来ている ANA の男性社員の方からもお話を伺い、英語について“読む、書く”だけでなく“聞く、話す”ことの大切さを教えていただきました。今“聞く、話す”ことをしなければいけない状況の生徒たちにとってはとても心に響くお話でした。また現地のスタッフの方から日本から来る最終確認の検査官の方は大変高い技術を持ち、皆に尊敬されているというお話を伺いました。日本の今後のあるべき姿の示唆を受けたように感じました。

ANA の方のお話では、アメリカと比べると日本では航空事業に携わる女性の数はまだまだ少ないということです。

まだ研修は始まったばかりですが、毎日たくさんのプログラムがあり、とても充実しています。少しでも多くのことを吸収し、自分たちのテーマに対する仮説の検証や考察等に積極的に取り組んでいきたいと考えます。

